

大学・高専機能強化支援事業
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2大学】
事業概要

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F109110101556
大学名	宇都宮大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	栃木県
申請形態	研究科等の設置・増員 + 学部等の設置・増員 (一般枠)		

1. 事業概要

データサイエンスと経営学の専門知識と技術を修得し、それらを課題解決や意思決定、価値創出に活用することにより社会に実装する力を身に付けた、企業や行政等においてDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、地域の課題解決を牽引するデジタル人材を育成するため、令和6年4月設置予定の新学部「データサイエンス経営学部」（設置申請中）を開設するとともに、令和8年4月に大学院地域創生科学研究科（博士前期課程）の新専攻「データサイエンスマネジメント専攻」を開設し、令和10年度には新専攻の定員を増加させる予定である。高等専門学校と連携し、高専専攻科生が本学の授業科目を遠隔で履修可能とするなど、高専・大学院での学修を接続させる取組を行う。また、医大との連携により、本学の学生が医療情報関連科目を履修する仕組みを構築するなどの取組により、複眼的視野の醸成、医工連携研究のより一層の活性化を図る。

2.基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前	75	164	239	1,312
	増員後	75	198	273	1,438
	増分	0	34	34	126
大学の全組織の収容定員	増員前	75	670	745	
	増員後	75	710	785	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員前	100.0%	24.5%	32.1%	
	増員後	100.0%	27.9%	34.8%	
	増分	0.0%	3.4%	2.7%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系	地域創生科学研究科先端融合科学専攻	25	75	
		計	25	75	
	情報系以外				
		計	0	0	
修士	情報系	地域創生科学研究科農総合科学専攻情報電気電子システム工学プログラム	82	164	
		計	82	164	
	情報系以外				
		計	0	0	
学士	情報系	工学部	341	1312	R6減員
		計	341	1312	
	情報系以外	地域デザイン科学部	146	572	R6減員
		国際学部	100	380	R6減員
		農学部	213	816	R6減員
		計	459	1768	

※情報系組織の改組・増員に関する組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系	地域創生科学研究科先端融合科学専攻	25	75		栃木県宇都宮市
		計	25	75		
		改組前との差	0	0		
	情報系以外					
		計	0	0		
		改組前との差	0	0		
修士	情報系	地域創生科学研究科データサイエンスマネジメント専攻データサイエンスプログラム（仮称）	17	34	R8設置、R10増員	栃木県宇都宮市
		地域創生科学研究科農総合科学専攻情報電気電子システム工学プログラム	82	164		栃木県宇都宮市
		計	99	198		
		改組前との差	17	34		
	情報系以外					
		計	0	0		
学士	情報系	データサイエンス経営学部（仮称）	58	226	R6設置	栃木県宇都宮市
		工学部	316	1212	R6減員	栃木県宇都宮市
		計	374	1438		
		改組前との差	33	126		
	情報系以外	地域デザイン科学部	137	536	R6減員	栃木県宇都宮市
		国際学部	94	356	R6減員	栃木県宇都宮市
		農学部	195	750	R6減員	栃木県宇都宮市
		計	426	1642		
		改組前との差	-33	-126		

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なもの6つまで）			
博士					
修士	地域創生科学研究科データサイエンスマネジメント専攻（仮称）	工学関係	経済学関係		
学士	データサイエンス経営学部（仮称）	工学関係	経済学関係		

< 基本情報 >

改組内容：研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員

情報系組織名：< 学士 > データサイエンス経営学部（仮称）、工学部

< 修士 > 地域創生科学研究科データサイエンスマネジメント専攻データサイエンスプログラム（仮称）、地域創生科学研究科工農総合科学専攻情報電気電子システム工学プログラム

< 博士 > 地域創生科学研究科先端融合科学専攻

情報系組織の入学定員：< 学士 > 【R6増員】改組前341名 → 改組後374名

< 修士 > 【R8増員】改組前82名 → 改組後87名

【R10増員】改組前87名 → 改組後99名

< 博士 > 改組なし

所在地：栃木県宇都宮市

大学を取り巻く社会変化

- ◆ **DX（デジタルトランスフォーメーション）**の旺盛な需要によりデータの持つ価値が向上し、またグローバル化によって地理的境界が薄れる中、社会は知識集約型社会へと加速的に変革しつつある。
- ◆ 地方国立大学は、様々な**社会課題の解決**に資する新たな知の創出と社会を牽引する**人材育成**を担う存在として、社会の活力を維持し、更なる発展を遂げるための駆動力を発揮することが期待されている。また、知の拠点としてその地域の発展をリードし、**地域経済・産業を支える役割**がこれまで以上に求められている。

宇都宮大学の現状と地域のニーズ

- ◆ 栃木県では全企業中99.8%を占める中小企業において、即戦力となる**経営人材**が必要とされており、地元企業へのアンケートの結果では、県内におけるデータサイエンスや経営マインドを持った**デジタル人材**育成への期待が高い。
- ◆ Society5.0社会の到来を目の前にして、**データサイエンス人材**への需要が高まっている今、文理融合・分野複眼の教育研究体制を築いてきた本学の新たな挑戦として、時代に即した**大学院の新専攻**を設置し、地域社会からの期待により一層応えたい。

大学院地域創生科学研究科（博士前期課程）の新専攻「データサイエンスマネジメント専攻（仮称）」を設置し、学修目標として「企業や行政等においてDXを推進し、**地域の課題解決を牽引するデジタル人材**となるために**データサイエンスと経営学の専門知識と技術を修得する**」ことを目指す。

地域創生科学研究科

データサイエンスマネジメント専攻

（2プログラム制）学位：修士（経営情報学）

データサイエンスプログラム

数理・データサイエンス・AIの高度な知識と技術を修得するプログラム

経営情報学プログラム

経営情報学の高度な知識と技術を修得するプログラム

社会デザイン科学専攻

工農総合科学専攻

教育学研究科（教職大学院）

カリキュラム

研究科共通科目

地域創生リテラシー科目（地域創生デザイン&イノベーション、アカデミックコミュニケーション）など

プログラム専門科目

< 社会実装 >

プロジェクトトレーニング、社会実装特別講義

< データサイエンス >

統計学特論、多変量解析特論、AI・機械学習特論等

< マネジメント >

経営情報特論、経営戦略特論、マーケティング特論等

※連携協力による取組

- ・「宇大未来塾」（学内）
- ・小山高専、米子高専、獨協医大大学院（他大学等）
- ☆ 科目の相互提供 → 学びの充実、連携研究の活性化
- ☆ 社会人 / 高専特別選抜の実施 → 入学者の安定確保

養成する「3つの力」

- ・ **データサイエンス力**：科学的で根拠に基づく課題発見・解決を行うために、数学、統計学、情報学の高度な知識や機械学習・AIの最新技術を駆使し、データから価値のある情報を抽出することにより、分析対象の本質を数理的に理解する力
- ・ **マネジメント力**：課題やリスクの特定と戦略プランの策定に必要な体系的な知識と判断力を有し、組織やプロジェクトにおいてリーダーシップを示すことが出来る力
- ・ **社会実装力**：データサイエンスと経営学の高度な知識と技術を、課題解決や意思決定、価値創出に活用することによって社会に実装する力

デジタル人材像

データサイエンス人材
DXの推進において、データを活用した業務変革や新規ビジネスの実現に向けて、データを収集・解析する仕組みの設計・実装・運用を担う人材

ビジネスアーキテクト人材
DXの取組において、ビジネスや業務の変革を通じて目的を設定し、関係者のコーディネート及び協働関係の構築をリードすることによって目的を実現する人材